

2013年 2月 4日

西会 本部長 西 万二郎様

投稿論文

論文題名 断食、食養の意義をエネルギー療法からの考察と検証
「食物アレルギー原因の、カルチノイド症候群からの健康回復と予防対策」
投稿者名 一級司教 川 形 壽 隆 Hisataka Kawagata



エネルギー療法としてのプラズマ・エネルギー波動測定法は下記によります。

生命体の自然治癒力を高めるシステム

「五次元/六次元(神)のエネルギー循環領域システム」

「多次元経路意識波動」プログラム

Methods for The Enhancement of Self-Healing Power and Immunity in Life Bodies

The 5th /the 6th Dimensional Domain

Circulatory Rotation Domain & System of The Energy

Multi-Dimensional Meridian HADO

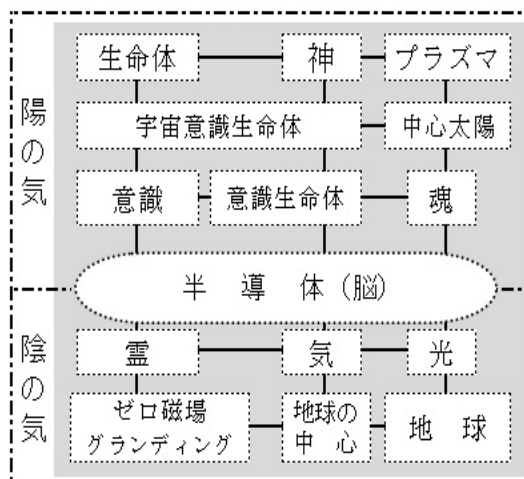
所 属 有限会社 富 多 神 代表 President FUTAKAMI Inc,
フタカミエネルギー研究会 代表 President Futakami Energy Reserch

連絡先住所 〒937-0806
富山県魚津市友道1189番地3
電話 (0765) 24-0326
Fax (0765) 24-0412
Email / 2059futakami@f-hado.com

人は、Something Great の存在を意識する、生命体とされています。

意識生命体は魂と表現でき、存在する宇宙意識生命体は、神となります。

(参考) 生命体の波動測定により、イメージされた「生命体のエネルギー共鳴図」



I. 目的

西式健康法 断食、食養の意義をエネルギー療法からの考察と検証。

「食物アレルギー原因の、カルチノイド症候群からの健康回復と予防対策」

◎基本的意義考察—身体的意義と精神的意義

西式健康法の断食療法の断食と食養の実行に際し、その目的効果を促進の為に、心身両面からの意義（＝機能）を把握し、意識（＝祈り）の高揚が必要である。

つまり、断食による宿便の排泄と体内毒素の代謝促進、体質改善への食養の必要性の身体的側面の意義から理解に始まり「良くなる、能くなる、善くなる、好くなる、佳くなる、ヨクナルと」意識して祈るという精神的側面からの意義が考察できる。

◎西式健康法の断食療法と食養、その効果とその推奨

上記の基本的意義考察から西式健康法の断食と食養を推奨します。

※生食療法：平常食を減らして、有機野菜の生食、青汁、野菜入り玄米粥等の摂食。

※寒天断食療法：平常食と寒天断食との併用。

※西式断食療法の実践については、実践中に下記の療法を併用します。

◆温冷浴：神道の禊の意識で、良くなる、好くなる、善くなる、佳くなる
ヨクナルと祈りの意識で水と湯風呂に交互に入浴

◆裸療法

◆整体調心療法 その他あります。

◎食物アレルギーが原因で肝臓での代謝障害を発症して、肝臓でトランス脂肪酸が発生、産生されて身体各部位組織に運ばれて、蛋白質が異所性に発現して有害細胞、有害組織細胞が形成されアレルギー発生、カルチノイド症候群が発症する事が波動測定されました。カルチノイド症候群の、発症原因要素の有害物質と毒素の代謝促進と霊障を解消して自然治癒力を高めて健康回復を図ります。西式健康法の食養の効果とその推奨をして予防を図ります。

II. 対象・症例

◎ カルチノイド症候群の発生原因検証とその対処法

*カルチノイド症候群は、食物アレルギーが原因である事が、波動測定により下記の通り判明しました。

カルチノイド症候群の身体部位における疾患発生初期には、アレルギー、炎症、痒い等の症状が測定されました。それはトランス脂肪酸を含む食品摂取により、摂取した人の肝臓で代謝障害が発症して、肝臓内で「トランス脂肪酸発生」してアレルギーの原因要素となります。

又、遺伝子組換え食品や異常型プリオン蛋白質を含む食品を摂取すると、食品と環境ホルモン毒素が原因で、代謝障害が発生し、更にネガティブ感情の「自己嫌悪、ストレス、穏やかでない」等がマイナス共鳴して、肝臓にてリポ蛋白質を含んだHDL コレステロール等により、トランス脂肪酸が産生されます。

上記の発生、産生されたトランス脂肪酸が身体各部位組織へ運ばれ「末梢組織で機能するタンパク質が異所性に発現して」有害細胞、有害組織細胞を形成し、食物アレルギー原因の疾患としてカルチノイド症候群が波動測定されました。

さらに、重度のストレス障害が加わると有害細胞が悪性の褐色細胞・褐色細胞腫(クモグラニサ)、癌もどき、境界性悪性腫瘍、カルチノイド腫瘍に悪化進展することも波動測定されました。

III. 波動測定された、カルチノイド症候群の種類と項目。

(発症部位名称と波動測定コード・別紙カルチノイド言霊コード一覧参考)

1. 頭部組織カルチノイド

- * 頭髪毛組織カルチノイド、表皮カルチノイド、表皮下カルチノイド、
筋肉組織カルチノイド、骨組織(頭蓋骨)カルチノイド、骨髄カルチノイド、
- * 脳組織カルチノイド、中枢神経麻痺、運動神経麻痺、末梢神経麻痺、神経組織カルチノイド、霊障(脳波を乱す)、大脳皮質カルチノイド(多発性硬化症大脳型)、大脳基底核カルチノイド(多発性硬化症大脳基底核型)、小脳組織カルチノイド(多発性硬化症小脳型)、橋組織カルチノイド(多発性硬化症橋型)(多発性硬化症目神経型、聴核神経型)、間脳組織カルチノイド(多発性硬化症間脳型)、脳下垂体カルチノイド(多発性硬化症脳下垂体型)、延髄組織カルチノイド(多発性硬化症延髄型)、中脳組織カルチノイド(多発性硬化症中脳型/インナーチャイルドが関わる測定例有り)、視床組織カルチノイド(多発性硬化症視床型)、脳腫瘍、境界悪性腫瘍、褐色細胞腫(カモグラーニナ)、
- * 脳血管カルチノイド、血液脳関門他脳血管カルチノイド、
毛細血管カルチノイド(出血性素因者:出血)、
- * リンパ組織カルチノイド、リンパ管カルチノイド、リンパ節カルチノイド、リンパ液浸出
- * 目組織カルチノイド、緑内障、白内障他、多発性硬化症目神経型他、目が痒い、
- * 耳組織カルチノイド、突発性難聴(リンパ液の不調)、難聴、漆神経、難聴、橋組織カルチノイド、
- * 鼻組織カルチノイド、副鼻腔炎、鼻炎、花粉症、
- * 気道組織カルチノイド、* 咽喉頭組織カルチノイド、咽頭炎、喉頭炎、
- * 口腔内組織カルチノイド、口腔内粘膜組織カルチノイド、口内炎、
- * 甲状腺カルチノイド、(胃経)副甲状腺炎、甲状腺炎、甲状腺癌、

2. 胸部組織カルチノイド、

- * 心臓組織カルチノイド(心経)、
- * 肺組織カルチノイド、肺カルチノイド(肺の神経内分泌細胞 - クルチツキ細胞)、肺の酸素取り入れ能力の低下、毛細血管カルチノイド(肺の毛細血管網)、粘膜深層、肺水腫(リンパ液浸出)、褐色細胞、褐色細胞腫(カモグラーニナ)、好銀性・嗜銀性・嗜銀細胞腫、神経内分泌癌、カルチノイド腫瘍、境界悪性腫瘍、癌もどき、
- * 気管組織カルチノイド、喘息、気管支炎、
- * 胸膜カルチノイド(臓側胸膜・壁側胸膜)、胸膜炎、肋膜カルチノイド、肋膜炎、
- * 表皮カルチノイド(背胴部含む) 表皮下カルチノイド 皮膚炎、皮膚筋炎、
- * 神経組織カルチノイド
- * 骨組織カルチノイド(胃経)、骨髄カルチノイド、骨組織カルチノイド、
多発性硬化症脊髄型、脊髄組織カルチノイド、肋骨組織カルチノイド、
- * 筋肉組織カルチノイド 筋肉炎、筋肉痛、筋肉疾患、
- * 血管カルチノイド、毛細血管組織カルチノイド
- * リンパ組織カルチノイド、リンパ管カルチノイド、リンパ節カルチノイド、リンパ液浸出

3. 腹部組織カルチノイド

- * 消化管カルチノイド (胃経・小腸経・大腸経カルチノイド含む)
- * 神経組織カルチノイド、筋肉組織カルチノイド、毛細・血管組織カルチノイド
- * 乳腺カルチノイド(胃経) 乳房カルチノイド、乳癌、乳腺炎、
- * 食道カルチノイド(胃経)、食道癌、食道炎、食道狭窄症(筋肉緊張症)
- * 胃組織カルチノイド(胃経)胃癌、胃体部・幽門前庭変形(胃体部・幽門前庭隆起)
- * 十二指腸カルチノイド(胃経) ファーター乳頭部がん、十二指腸変形(隆起)
- * 骨組織カルチノイド(胃経)骨髄カルチノイド、骨組織カルチノイド、多発性硬化症脊髄型
- * 膵臓組織カルチノイド(胃経・ホルモン様物質)、インスリン依存型糖尿病、
インスリン自己免疫症候群、
- * 小腸組織カルチノイド(小腸経) 腸炎、癌、
- * 大腸組織カルチノイド(大腸経) 腸炎、癌、
- * 腹膜組織カルチノイド(臓側腹膜・壁側腹膜) 腹膜炎、
- * 肝臓組織カルチノイド(肝経・目組織)→経絡別の各臓器末梢組織へ直接有害蛋白質を運び有害細胞、

- 有害組織細胞発現、褐色細胞、褐色細胞腫(クロモグラニンa)、代謝障害、
- *胆嚢組織カルチノイド(胆経)胆嚢炎、胆嚢癌、胆管癌、胆嚢内異所生組織、
 - *脾臓組織カルチノイド(脾経)
 - *腎臓組織カルチノイド 腎炎、褐色細胞、褐色細胞腫(クロモグラニンa) 腎臓癌、
 - *膀胱組織カルチノイド(膀胱経)膀胱癌、膀胱炎
 - *卵巣組織カルチノイド(三焦経) 卵巣嚢腫、卵巣腫瘍、
 - *子宮組織カルチノイド(三焦経) 子宮内膜症、子宮筋腫、子宮癌、
 - *泌尿器組織カルチノイド、前立腺カルチノイド、前立腺炎、前立腺癌、
 - *男性器組織カルチノイド、睾丸・精巣組織カルチノイド
 - *女性器カルチノイド、膣・陰唇・陰核、
 - *骨盤カルチノイド 骨髄カルチノイド、骨組織カルチノイド

4. 上下肢カルチノイド(小脳組織カルチノイド・多発性硬化症小脳型、小脳失調・四肢麻痺)
- *下肢カルチノイド 毛細血管カルチノイド(出血性素因者:出血)、血管組織カルチノイド、表皮カルチノイド、表皮下カルチノイド、神経組織カルチノイド、リンパ組織カルチノイド、骨髄カルチノイド、骨組織カルチノイド、筋肉組織カルチノイド、
 - *上肢カルチノイド (下肢カルチノイドに同じ)
5. 神経組織カルチノイド
- 神経内分泌癌、中枢神経麻痺、末梢神経麻痺、運動神経麻痺、漆神経(顔面神経麻痺)、神経鞘、神経鞘腫、神経内分泌細胞、神経内分泌顆粒(シナプトフィジン、シナプス小胞/内分泌顆粒)
- 中枢神経組織カルチノイド、脊髄神経組織カルチノイド、骨盤神経組織カルチノイド、末梢神経カルチノイド、
6. リンパ組織カルチノイド、リンパ管カルチノイド、リンパ節カルチノイド、リンパ液浸出、(腹部カルチノイド項目にも含む)、
7. 経絡組織カルチノイド
- 肺経組織カルチノイド、大腸経組織カルチノイド、心経組織カルチノイド、小腸経組織カルチノイド、腎臓経組織カルチノイド、膀胱経組織カルチノイド、心包経組織カルチノイド、三焦経組織カルチノイド、胃経組織カルチノイド、脾経組織カルチノイド、肝経組織カルチノイド、胆経組織カルチノイド、督脈組織・任脈組織カルチノイド
8. その他、全身性エリテマトーデス疾患の合併症としてカルチノイド症候群が波動測定されました。

IV. 検 証 食物アレルギー原因、カルチノイド症候群の発症原因毒素等の波動測定について。

※異常型プリオン蛋白質を含む食品の摂取 (波動測定された食品について)

放射能に汚染されて(放射性キセノン、 γ 線、キセノン135 γ 線、キセノン133 γ 線 β 線、トリチウム β 線、水素トリチウム β 線、 α 線、クリプトン α 線、ウラン238 α 線プルトニウム α 線等)に汚染されて、プリオン蛋白質が異常型に変異している事が波動測定されました。

海老、カニ肉、牡蠣身(カキエキス)、帆立貝、ハマグリ、オホーツクサーモン、鮭、鱒、白身魚等のプリオン蛋白質が異常型に変異している。これらを摂取すると、肝臓でトランス脂肪酸産生の因子となる。動物霊障(魚類霊・甲殻類霊)有りと波動測定されました。

(※上記以外の赤身魚、赤魚、青魚、黒魚には異常型プリオン蛋白質変異は測定されません)

※食品摂取の他にトランス脂肪酸を肝臓で発生、産生する要因として、前記II.対象・症例の通り「自己嫌悪、ストレス、穏やかでない」等のネガティブ感情が測定されました。遺伝子組換え食品等の植物ステロール、内因性脂質、外因性脂質、コレステロール・エステル、 β シトステロール、遊離コ

レステロール、コレステロール等が結合したトランス脂肪酸が肝臓で産生され、アレルギー性の「末梢組織で機能するタンパク質が、異所性に発現して」疾患を発症させる有害細胞、有害組織細胞に重度のストレス障害が加わると、更に褐色細胞、褐色細胞組織、褐色細胞腫(ケモグランソ)、癌もどき、境界性悪性腫瘍、カルチノイド腫瘍に悪化進展することが波動測定されました。

※遺伝子組換食品を餌として与えられた動物(牛肉、牛の肝臓、豚肉、鶏、卵)には食品の植物霊障が憑依しているのがストレスとなり、βシトステロール、外因性脂質他等との要因で、動物の肝臓でトランス脂肪酸が産生されています。それらの食品を摂取するとトランス脂肪酸は、人の肝臓で代謝障害をひき起こし解毒されることなくトランス脂肪酸が発生して体内へ循環されます。
＜参考添付文書＞異常型プリオン蛋白質牛肉モモ、肉国産豚こま切れ肉、鶏の波動測定事例

V 肝臓組織内トランス脂肪酸の産生・発生」を確認測定する為の、言霊波動コード一覧

- 「末梢組織で機能するタンパク質が異所性に発現しており」 「異常型プリオン蛋白質」
- 「抗体に内因性脂質の遊離コレステロールと外因性脂質の二世不継続・遺伝子組換食品に含まれる、植物ステロールが結合した有害組織細胞はトランス脂肪酸である」
- 「コレステロールと植物ステロールが結合したトランス脂肪酸」
- 「抗体に内因性脂質のコレステロールと外因性脂質の二世不継続・遺伝子組換食品に含まれる、植物ステロールが結合したトランス脂肪酸は有害組織細胞である」
- 「抗体に内因性脂質の遊離コレステロールと外因性脂質の二世不継続・遺伝子組換食品に含まれる、植物ステロールが結合したトランス脂肪酸はアレルギー性の有害組織細胞である」
- 「トランス脂肪酸はアレルギー性の有害組織細胞で褐色細胞腫である」
- 「トランス脂肪酸はアレルギー性の有害組織細胞」
- 「抗体に内因性脂質の遊離コレステロールと外因性脂質の二世不継続・遺伝子組換食品に含まれる、植物ステロールが結合したトランス脂肪酸はアレルギー性の有害組織細胞の体外排除」
- 「抗体に内因性脂質のコレステロールと外因性脂質の二世不継続・遺伝子組換食品に含まれる、植物ステロールが結合したトランス脂肪酸は、アレルギー性の有害組織細胞である」
- 「内因性脂質のコレステロールと外因性脂質の二世不継続・遺伝子組換食品に含まれる植物ステロールが結合した有害組織細胞はトランス脂肪酸である」
- 「内因性脂質の遊離コレステロールと外因性脂質の二世不継続植物ステロールが結合したトランス脂肪酸」
- 「抗体に内因性脂質の遊離コレステロールと外因性脂質の二世不継続・遺伝子組換食品に含まれる、植物ステロールが結合したトランス脂肪酸は有害組織細胞である」
- 「LCAT (レシチンコレステロール アシルトランスフェラーゼ)」
- 「抗体に内因性脂質の遊離コレステロールと外因性脂質の二世不継続・遺伝子組換食品に含まれる、植物ステロールが結合したトランス脂肪酸はアレルギー性の有害組織細胞の食食促進」
- 「ABCA1 (ATP binding cassette transporter A1)」、 「ATP-結合カセット輸送蛋白A1」
- 「抗体と結合した遊離コレステロールのアレルギー性、二世不継続細胞組織の体外排除」
- 「内因性脂質のコレステロールと外因性脂質の二世不継続植物ステロールが結合したトランス脂肪酸」、
- 「肝臓組織内でトランス脂肪酸産生」
- 「トランス脂肪酸発生」「有害細胞に霊障憑依」

VI. 結果 カルチノイド症候群疾患波動測定事例(参考添付文書参照)の通り。

1. Y家のカルチノイド発症原因の食品毒素、トランス脂肪酸産生発生させた肝臓の波動測定事例、
*M・Y様 S・Y様 S`・Y様一家3人の波動測定リストの通り波動修正して健康回復。
*Y家(3人家族)肝臓-1、肝臓-2、毒素、食品、波動測定リスト、

2. その他の測定事例<下記の会員様の参考添付文書の通り>

- * [N・H・k様波動測定リスト](#) 平成24年11月5日
- * H・M様波動測定リスト 平成24年12月3日
- * [A様波動測定リスト](#) 平成24年12月12日
- * [B様波動測定リスト](#) 平成24年12月12日

VII. 食物アレルギー原因の、カルチノイド症候群を克服する健康回復方策、

*前記、Iに明記しました「西式 断食、食養」の実践が第一です。
*第二には、カルチノイド疾患により免疫力の低下した人で「西式 断食、食養」の実践が出来ない人には、エネルギー療法プラズマエネルギー波動測定法による、カルチノイド疾患症状の波動修正により、発症原因の有害物質と毒素の代謝促進と霊障を解消し、ネガティブ感情を手放し、自然治癒力を高めて「魂と霊体と肉体の意識の統合」を図ります。

VIII. 考 察

◎エネルギー療法プラズマエネルギー波動測定法による波動修正と毒素の代謝促進健康回復について。

参考論文 2011.5.30 サトルエネルギー学会、寄稿論文 エネルギー療法「[生命体の自然治癒力を高めるシステム](#)」のプラズマ・エネルギー波動測定法を用いて波動測定（生命体の自然治癒力を高めるシステム、五次元／六次元のエネルギー循環領域システム「[多次元経絡意識波動プログラム](#)」別表による）を用いて、免疫力を低下させるマイナス波動修正により毒素の代謝促進をさせ自然治癒力を高めて身体各部位臓器の再生を図ります。

身体臓器の再生測定には、iPS細胞と組織再生一覧表をはじめとする波動コード、iPS-II細胞コード：274(293)コード、その他の細胞コード：520 コード、遺伝子コード：462 コード、遺伝子修復コード：238 コード他別紙波動コード分類一欄表の通り約2万コードを活用して、各疾患カルチノイドからの健康回復に、霊障を解消しネガティブ感情を手放して「魂と霊体と肉体の意識の統合」の波動修正しました。

最終キーワードとして言霊波動コード「魂・中心太陽・地球・地球の中心・グランディング・生命体への深い慈愛と尊敬・神・霊」を活用して波動修正しております。

IX ご質問、相談等のお問い合わせは「[お問い合わせグッズ注文](#)」ボタンからメールを送ってください。

<参考添付文書>

- * [異常型プリオン蛋白質牛肉モモ、国産豚こま切れ肉、鶏の波動測定事例](#)、
- * [Y家\(3人家族\)肝臓-1、肝臓-2、毒素、食品、波動測定リスト](#)、別紙添付の通り。
- * [カルチノイド波動測定事例](#) *M・Y様 S・Y様 S`・Y様一家3人の波動測定リスト
- * その他の測定事例
- * [N・H・k様波動測定リスト](#) 平成24年11月5日
- * H・M様波動測定リスト 平成24年12月3日
- * [A様波動測定リスト](#) 平成24年12月12日
- * [B様波動測定リスト](#) 平成24年12月12日
- * [カルチノイド症候群 言霊コード一覧表](#)
- * [iPS細胞と組織再生 言霊コード一覧表](#)
- * [波動コード分類一欄表](#)の通り
- * 研究発表 第24回 ホリスティック医学研究会 2011年5月15日
[川形壽隆「トランス脂肪酸の発生と症例波動測定修正事例」](#)添付